

## 国内経済要録

### ◇当面の国債管理政策について

大蔵省は、5月21日、次のとおり「当面の国債管理政策について」を発表した。

1. 予算の執行状況、税収の動向等を見ながら、55年度国債の発行減額に努める。
2. 本年7月に、資金運用部保有の国債約7,000億円を金融機関に対して売り戻すことに配慮し、本年度の資金運用部による国債の引受けを7,000億円増額し、シ団引受予定の10年利付国債を減額する。
3. 引続き中期国債の公募入札による発行の定着化を図るとともに、入札方式の改善について検討する。
4. 金融機関引受の国債については今後とも安定的保有を期待するが、証券取引所上場以降については、流通市

場における適正な価格形成の促進の観点をも踏まえ、その売却について必要に応じ弾力的に対処する。

5. 国債の私募形式による発行について引続き検討を進めるとともに、今後とも必要に応じ、国債整理基金等の資金を活用し国債市場の安定化を図る。

### ◇56年度予算サマレビューの前提

大蔵省は、5月16日、56年度予算編成に向けての事前点検作業(いわゆるサマレビュー)の前提となる試算を閣議に提出した。同試算は、①56年度の税収について54年度税収実績見込みを基礎に、55、56年度の名目GNPの伸びを各10%、税収の名目GNP弾性値を1.2として推計し、②56年度の税外収入等については55年度比おおむね10%増と見込んだうえで、③56年度の公債発行額を54年度実績見込額(13兆4,700億円)比1兆円以上、55年度予算比2兆円程度減額することを目標に試算されたものである。同試算の内容次のとおり。

### 56年度事前点検作業の前提

(単位・億円)

	54年度当初		55年度		56年度試算	
		前年度比 増減率(%)		前年度比 増減率(%)		前年度比 増減率(%)
<歳入>						
1. 税収	214,870	0.2	264,110	22.9	307,000	16.2
2. 税外収入等	18,431	- 0.9	19,078	3.5	21,000	10.1
3. 公債金収入	152,700	39.0	142,700	- 6.5	122,700	- 14.0
計	386,001	12.6	425,888	10.3	450,700	5.8
<歳出>						
1. 国債費	40,784	26.6	53,104	30.2	67,700	27.5
2. 地方交付税	52,882	- 2.0	65,452	23.8	75,400	15.2
3. 一般歳出	292,335	13.9	307,332	5.1	307,600	0.1
計	386,001	12.6	425,888	10.3	450,700	5.8
公債依存度	39.6%		33.5%		27.2%	